



院長 須藤 英仁

梅雨空が続いております。皆様お変わりありませんでしょうか？当院では嬉しいことがいくつか続いておりますので、皆様に報告したいと思います。

まずはじめに、7月1日より、長澤武志先生に当院に来て頂きました。先生は2年程前に当院に約3ヶ月間勤務して頂きましたが、この度、正式に当院の医師として働いて頂けることになりました。4月から勤務の石田名誉院長と合わせ、当院は10名の常勤医師を確保することが出来ました。医師不足のおり、本当にありがたいことです。なを、長澤先生の専門は内科全般、特に糖尿病、内分泌関係が専門でアメリカに2年の留学経験もございます。困ったことがありましたら是非ご相談頂けたらと思います。

第二に、看護部は待望の7対1看護体制を取得することが出来ました。准看護学校へ2年、そして夜間の看護学校へ3年の計5年間勉強してきた、看護師の努力の結果だと思っております。この点につきましては、当院の看護師に心より感謝したいと思っております。しかし、以前にも申しましたように、

7対1看護体制にふさわしい看護を、提供していかなければならないと思っておりますので、今後とも努力を続けていきたいと思っております。

最後となりましたが、新病院の建築がいよいよ始まりました。近隣の皆様には、大変ご迷惑をお掛けしております。新病院は地上4階建てとし、1階に外来・検査・画像診断・検診部門を配置、2階に回復期リハビリテーション病棟・療養型病床として47床、3階に急性期・一般病床として48床の合計95床となる予定です。また4階には手術室・調理室・管理部門などを計画しております。医療費抑制のため、なかなか思い通りという訳にはまいりませんが、職員一同精一杯工夫をし、患者さんの喜ばれるものにしたいと思っております。患者さんからのご意見もお聞きしたいと思っておりますので、何かございましたら、どうぞご教示下さいませ。

いろいろ申しましたが、まさに今、病院全体が再構築の状況となっております。ご支援の程よろしくお願い致します。

★長澤武志医師就任★



平成2年： 信州大学医学部医学科卒業
平成2年： 信州大学医学部内分泌内科入局
平成6年～平成8年： 米国シカゴ大学医学部 留学
平成9年： 信州大学大学院医学研究科
（博士課程）卒業
平成9年～平成11年： 信州大学内分泌内科員
平成11年～平成16年： 信州大学医学部付属病院委嘱講師
（関連病院内科医長兼任勤務）
平成17年1月～3月： 須藤病院勤務
平成17年4月～平成19年6月： 軽井沢病院内科医長

はじめまして、もしくは、お久しぶりです。再びお世話になることになりました内科の長澤です。

実は平成17年1月から3ヶ月間のみ須藤病院にお世話になったことがあります。平成17年4月からは軽井沢病院での勤務が決まっていたのですが、短期間でも須藤病院のスタッフの方々に大変親切にして頂きました。今回再び、ご縁がありまして、7月より須藤病院で内科全般の診療にあたらせて頂くことになりました。もともと糖尿病や高脂血症などの生活習慣病（メタボリック症候群も含みます）やホルモン（内分泌）の病気を専門としておりますので、そちらの病気の方もぜひ受診して頂ければ幸いです。

最近「ふるさと」という言葉を耳にすることが時々あります。私の父は転勤が多かったのですが、子供の頃埼玉県に多くいたので「第一のふるさと」と考えてい

ます。大学からは長野県にお世話になり、家内も長野県出身で、現在本籍も長野県になっており「第二のふるさと」と考えております。（自宅も軽井沢にあり、そこから通勤しています）

今後安中を「第三のふるさと」と呼べるように一生懸命勤務していきたく思いますのでよろしくお願いいたします。



看護師長として



病棟看護師長 佐藤明美

5月1日付けで、病棟看護師長に就任しました佐藤明美です。

当院も新年度を迎え看護師5名、准看護師5名と多くの新人が入職してまいりました。多くの病院が看護師不足

で悩んでいる中、とても喜ばしい事と思います。これだけ多くの新人を迎えるという事は、しっかりと教育をしなければならないという事です。学校教育と職場教育は同じであり、別のものでもあります。学校で学んだ事を現場で活かせるように、援助を続けなければいけません。

現在病棟では新人教育に尽力をつくしております。新人スタッフには厳しい毎日だと思いますが、この厳しさを乗り越え、看護の喜びを肌で感じとって欲しいのです。教育については、まだまだ試行錯誤ではありますが、先輩看護師全員で取り組んでいるところです。

患者さまには、対応の不備などで、大変ご迷惑をおかけする事があるかもしれません。そんな時は遠慮せずに私にお話し下さい。ご意見は必ず無駄にすることなく、今後の看護に結びつけ、皆さまから信頼される看護師を育成していきたいと思えます。

まだまだ力不足な師長ですが、患者さま・病棟のスタッフの力をお借りして、よりよい病棟目指して努力していきたいと思えます。